

## シヴァ・マーナサ・プージャー シヴァ神への精神的な崇拝

祈りの賛歌、「シヴァ・マーナサ・プージャー」を歌い、その意味にマインドを没頭させることは、シヴァ神の存在を呼び起こす力強い方法となります。

この賛歌は、8世紀の精神の師であるアーディ・シャンカラチャーリヤによるものと考えられています。バーバ・ムクターナンダが1960年代に、「シヴァ・マヒムナ・ストートラム」の朗唱と並んでこれを日課に取り入れて以来、シッダ・ヨーガのアーシュラムで歌われてきました。「シヴァ・マーナサ・プージャー」の第4節と第5節はまた、シッダ・ヨーガがグルと神に奉仕して自らの行いをささげるセヴァーを始める時に、いつも朗唱されています。

「シヴァ・マーナサ・プージャー」では、外側の崇拝の行為は、崇拝する人の想像力の限りない源から生み出された、ささげものの美しさ、芳香、甘美さと共に、内面化されます。シヴァの特性の数々と自らの存在のさまざまな面を同一視することによって、信奉者の崇拝は自らが神と一体であるという認識をもたらします。

この賛歌は、あなた自身の精神的な崇拝の実践を確立するための模範とすることもできます。グルや自ら選んだ神への精神的な崇拝は、マインドを集中させ、浄化し、そしてあなたを崇拝の対象と一体にする助けとなります。

# シヴァ・マーナサ・プージャー シヴァ神への精神的な崇拝

## 第1節

おお、慈悲の大海、限界ある生き物たちの支配者よ、  
私はあなたのために思い描きます。素晴らしい宝石に飾られた玉座、  
水浴のための冷たい水、たくさんの宝石を散りばめた聖なるローブ、  
あなたの身体を清める麝香(じゃこう)を混ぜたビャクダンのペースト、  
ジャスミンとチャンパカの花とビルヴァの葉、珍しいお香、そして輝く炎を。

あなたのために心の中で思い描いたこれらすべてのものを

どうぞお受け取りください。おお、神よ。

## 第2節

九つの宝石をはめ込んだ黄金の鉢に入れた上質の米、牛乳、発酵乳、バナナ、野菜、樟脳

(しょうのう)で香り付けられた新鮮な水とキンマの葉から作った

5種の食べ物。私はこれらすべてのものを愛を込めて心の中で用意しました。

おお、神よ、どうぞお受け取りください。

### 第3節

天蓋(てんがい)、ヤクの尾の小ぼうきを2本、扇と曇りのない鏡、ヴィーナ、ティンパニ、ムリダングと大太鼓。歌と踊り、完全なる平伏そして数々の賛歌。

これらすべてを心の中であなたにささげます。

おお、全能の神よ、どうぞこの、私のあなたへの祈りをお受け取りください。

### 第4節

あなたは私の大いなる自己であり、パールヴァティーは私の理性です。私の五つのプラーナはあなたの従者であり、この身体はあなたの家です。そして私の感覚の喜びのすべてはあなたへの祈りに使われます。私の眠りはあなたのサマーディの境地です。どこを歩こうとそれはあなたの周りを歩くことであり、私が口にすることすべてはあなたをたたえる言葉であり、私の行

いのすべては

あなたへの愛から行います。おお、慈悲深き神よ。

### 第5節

私の手、足、声、身体、行為、耳、目、あるいは心で犯してきたすべての罪をお許してください。

それが教典の中で禁じられているものであろうとなかろうと。

万歳！ 万歳！ おお、慈悲の大海よ！ おお、偉大なる神よ！

おお、慈悲深き神よ！